

災害支援などにと車両を寄贈

大雨被害を受けて、10月11日に市はダイハツ九州から車両1台の寄贈を受けました。令和2年に続き3回目。エンジンは田主丸町にある同社工場で製造したものです。市は、災害支援をはじめ、さまざまな用途に使う予定です。

日野克浩社長は「想定外の事態への対応は企業も行政も同じ。少しでも市の活性化につながるよう、役立てていただきたい」と話しました。



日野社長（左）に、原口市長から感謝状が渡されました

力合わせて農地を復旧

7月大雨で果樹や植木の根元に泥が流れ込み、大きな被害が発生しました。市は、9月29日に農地復旧ボランティアセンターを開設。これまで100人以上のボランティアが泥出しなどを行っています。

初めて参加した吉田貴衣さん（広川町）は「農家が元気を取り戻せるよう、力になりたい」と話しました。参加には登録が必要です。詳しくは市ホームページを確認を。



巨峰が再び実るよう、力を合わせて根元の泥をかき出すボランティア

秋空の下、校区対抗で汗を流す

10月15日、久留米総合スポーツセンター陸上競技場で久留米オリンピックピックが5年ぶりに開催されました。秋の晴天が広がる中、31の校区や地域から約2000人が参加。小学生リレーや綱引き、アジャタ（スポーツ玉入れ）などで競いました。最終の年齢別リレーでは小学生から50代までの11人がバトンをつなぎ、ひととき大きな声援が。熱戦の結果、安武校区が総合優勝に輝きました。



小学生リレーでは校区のみならずからの声援が送られる中、1年生から6年生までが力いっぱい走りました

日本一の計算技術を披露

久留米商業高校の珠算・電卓部が、「全国高等学校ビジネス計算競技大会」（7月25日・横浜武道館）で珠算の部日本一、電卓の部6位入賞を果たしました。珠算検定1級に満点合格した廣瀬麗姫さん（3年）をはじめ、選手6人が10月12日に原口市長に報告。その腕前を披露しました。そろばんや電卓を目にもとまらぬ早さで操り、正確な答えを出していききました。



市長応接室で日本一の技術を披露する6人。その集中力と技術に原口市長（右）も圧倒されました

久留米産農産物をアピール

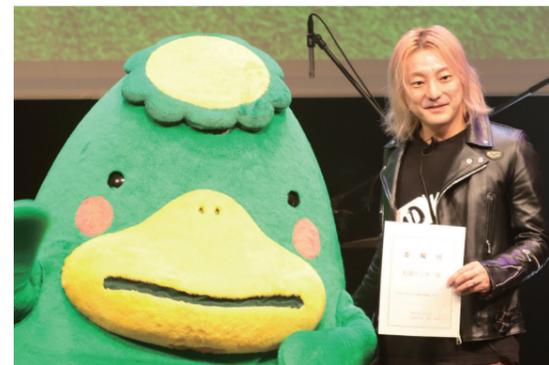
10月17日、福岡市中央卸売市場で原口新五市長と高木典雄うきは市長、右田英訓JAにじ組合長が農産物のトップセールスを行いました。福岡都市圏への販路拡大を狙い。場内で柿とトマト300セットを配布して魅力をアピールしたり、リーフレタスなどを展示したりしました。原口市長は「農家が大雨被害に負けずに生産したもので、多くの方に食べていただきたい」と話しました。



原口市長が、旬を迎える柿とトマトを仲買人に手渡し。11月にも大阪市の市場で葉物野菜を宣伝します

久留米の魅力と音楽を世界に

9月30日、市出身の松隈ケンタさんがくるめふるさと大使に就任しました。松隈さんは「新しい学校のリーダーズ」への楽曲提供をはじめ多くのミュージシャンを手がける音楽プロデューサー。「くるめライブチャレンジ」のスペシャルアドバイザーも務めています。久留米シティプラザであった就任式で松隈さんは「久留米の魅力を全国、世界に伝えたい」と話しました。



就任式でふるさと大使の委嘱状を受け取った松隈さん

市公式 SNS で情報発信中

災害などの緊急情報はもちろん、暮らし、観光、イベント情報など生活に役立つ情報をさまざまな方法で発信中。



「広報久留米」を多言語で

「広報久留米」を無料アプリ「カタログポケット」で配信しています。英語のほか、韓国、中国（繁体字/簡体字）、タイ、ポルトガル、スペイン、インドネシア、ベトナム各言語に自動翻訳と読み上げもします。

※ QR コードは株式会社デンソーウェブの商標登録です

TV・ラジオで放送中

KBC テレビ d ボタン

- ①テレビでKBCを視聴
- ②リモコンの「d」ボタンを押す
- ③市の情報を最大12項目表示

ドリームス FM (76.5MHz)

- ・ 広報くるめラジオ版 (月～金) 12時5分
- ・ インクルージョンの in 久留米 (出) 14時48分。お笑い芸人が久留米のよかとこを配信



インクルージョン (福岡よしもと)

今月の表紙

秋風にそよぐコスモス



10月21、22日に北野町でコスモスフェスティバルがありました。訪れた人々は秋を告げるコスモスとイベントを楽しみました。